

目標の柱	2	就労対策・企業支援と戦略的な取組による町民所得の向上
基本目標(政策)	2-3	町民所得の向上を図ります(産業振興)
基本計画(施策)	2-3-2	・林業分野での挑戦

	課	係
主管課・係	農林課	林政係・林業振興係
	環境水道課	環境衛生係
関係課・係	建設課	建築営繕係
	農林課	農林土木係
	各総合支所振興課	農林建設係

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①国有林・民有林からの生産量を増やす。 ②林業を魅力的な産業として成長させる。 ③林業従業者を増やし、定着させていく。</p>																																																												
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①木材生産量(素材生産量)の増加。 ②南会津町産材の製品利用の増加。 ③林業経営体の増加と林業従事者数の増加。</p>																																																												
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 林業経営体数</td> <td>経営体</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>B 木材生産量</td> <td>m³</td> <td>36,400(30年度)</td> <td>28,000(元年度)</td> <td>41,000</td> <td>33,900(2年度)</td> <td>43,000</td> </tr> <tr> <td>C 森林組合従事者数</td> <td>人</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>46</td> <td>44</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>D 林業総生産額</td> <td>百万円</td> <td>358(28年度)</td> <td>342(29年度)</td> <td>360</td> <td>381(30年度)</td> <td>361</td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	実績値	実績値	目標値	実績値	目標値	A 林業経営体数	経営体	27	27	27	27	28	B 木材生産量	m ³	36,400(30年度)	28,000(元年度)	41,000	33,900(2年度)	43,000	C 森林組合従事者数	人	44	44	46	44	50	D 林業総生産額	百万円	358(28年度)	342(29年度)	360	381(30年度)	361	<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>各経営体において安定的に事業量が確保されているため。</td> <td>② このままで達成可能</td> <td>今後も一定の事業量が見込めるため。</td> </tr> <tr> <td>B ④ 下回った</td> <td>私有林の施業地確保が減少しているため。</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>林業事業者の連携を強化し、施業地を確保する。</td> </tr> <tr> <td>C ④ 下回った</td> <td>専門技能習得には時間を要するため。</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>保育事業だけでなく、伐出事業への進出により雇用増が見込めるため。</td> </tr> <tr> <td>D ① 大きく上回った</td> <td>木材価格の上昇及び素材生産量の増加が図られたため。</td> <td>② このままで達成可能</td> <td>木材需要が回復傾向にあるため。</td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ③ ほぼ目標値どおり	各経営体において安定的に事業量が確保されているため。	② このままで達成可能	今後も一定の事業量が見込めるため。	B ④ 下回った	私有林の施業地確保が減少しているため。	③ 取組改善で達成可能	林業事業者の連携を強化し、施業地を確保する。	C ④ 下回った	専門技能習得には時間を要するため。	③ 取組改善で達成可能	保育事業だけでなく、伐出事業への進出により雇用増が見込めるため。	D ① 大きく上回った	木材価格の上昇及び素材生産量の増加が図られたため。	② このままで達成可能	木材需要が回復傾向にあるため。
			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度																																																					
	実績値	実績値		目標値	実績値	目標値																																																							
A 林業経営体数	経営体	27	27	27	27	28																																																							
B 木材生産量	m ³	36,400(30年度)	28,000(元年度)	41,000	33,900(2年度)	43,000																																																							
C 森林組合従事者数	人	44	44	46	44	50																																																							
D 林業総生産額	百万円	358(28年度)	342(29年度)	360	381(30年度)	361																																																							
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																																										
A ③ ほぼ目標値どおり	各経営体において安定的に事業量が確保されているため。	② このままで達成可能	今後も一定の事業量が見込めるため。																																																										
B ④ 下回った	私有林の施業地確保が減少しているため。	③ 取組改善で達成可能	林業事業者の連携を強化し、施業地を確保する。																																																										
C ④ 下回った	専門技能習得には時間を要するため。	③ 取組改善で達成可能	保育事業だけでなく、伐出事業への進出により雇用増が見込めるため。																																																										
D ① 大きく上回った	木材価格の上昇及び素材生産量の増加が図られたため。	② このままで達成可能	木材需要が回復傾向にあるため。																																																										
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはなんですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共構造物における木材の利用促進。 ・一般住宅への町産材使用を促すための木造住宅を対象とした事業の実施。 ・丸太の町内流通の支援実施。 ・森林施業のための林道の整備を実施。 ・新規雇用への支援制度の実施。 																																																												
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業成長産業化推進会議において事業内容等を検証し、施策に反映している。 ・公共施設への町産材利用により、町産材供給体制が構築された。 ・林業成長産業化推進会議により、一般住宅での町産材利用を図ったことから、町産材供給利用体制が強化された。 																																																												

【施策の振り返り】

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材生産業者から私有林での事業地確保の動きが生まれ、生産増加及び安定生産に向けた取組がはじまった。 ・公共施設のみならず一般住宅でも町産材が使用され、地元消費が図られた。 ・町内製材所等が原材料として調達する木材について、町産材の割合が増加した。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定した素材生産には、計画的な事業地確保が必要。 ・素材生産に要する生産経費の削減。(機械化による生産性向上) ・町産材の製品の需要拡大。(付加価値の向上) ・人材の確保・育成、就業希望者への情報提供促進。
<p>9 本施策の類似性</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>林業施策の拡充発展を図るうえで、外部委託等の見直しはないと思われる。</p>

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<p>木材価格(丸太価格)の大幅な上昇は想定されないことから、今まで以上に機械化等による生産性向上とコスト削減を進める必要があります。また木材の用途について、需要が旺盛なバイオマス燃料利用に偏ることなく、より高い価格の建築材への利用に向け、需要の確保と付加価値の向上に向けた取組を進め、1本の木から、より多くの収入が得られる仕組み構築が必要です。</p>
-------------------------------------	---

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和4年度新規事業 に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和元年度決算額	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度予算額
01	森林環境交付金 事業	農林課	目的	森林の持つ多様な資源を有効に活用することで、森林環境学習や里山整備等による森林環境への意識醸成により地域の活性化を図る。		
			概要	町内小中学校における森林環境学習や地域住民による森林づくりへの参画を促進する事業のほか、ヤマザクラ植栽による里山林整備を実施した。		
			成果	ヤマザクラ一万本の里づくり事業等により、森林づくりの重要性及び森林の持つ公益的機能の再認識が図られた。		
		林政係	問題	未実施地区への支援の仕方。		
			対策	①継続 隣接地区との共同取組等を検討する。		
			事業費	25,575	20,210	17,792
02	林産業人材支援 事業	農林課	目的	林産業の将来を担う人材の育成を支援することで、林産業の後継者確保と経営の強化向上を図る。		
			概要	新規雇用を行う林産業事業体に人材育成経費の一部を助成した。		
			成果	林産業事業体で新規雇用が図られた。		
		林業振興係	問題	施業地の確保と伐木造材技術の継承。		
			対策	①継続 新規雇用に対する支援を継続するとともに、関連事業体が連携して林産業の魅力発信等の取組を検討していく必要がある。		
			事業費	600	4,600	8,500
03	県営事業負担金 (林道開設)	農林課	目的	森林が有する多面的機能の維持・増進を図るため、生活環境の改善にも資する骨格的な林道及び林業専用道の整備を図る。		
			概要	山のみち地域づくり交付金事業田島・館岩 I 線の町負担金及び森林施業のための道である林業専用道整備事業の町負担金により事業を実施した。		
			成果	森林が有する、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、公衆の保健、地球温暖化の防止、林産物の供給等の多面的機能の維持・増進を図られた。		
		農林土木係	問題	国費及び県費の予算の確保が困難のことから、事業期間内での完了が困難なこと。		
			対策	①継続 県当局に引き続き事業継続の要望を行う。		
			事業費	25,230	24,782	55,330
04	森林環境保全直 接支援事業	農林課	目的	間伐や保育・造林等による森林整備を行うことで、森林の持つ多面的・公益的機能の維持向上を図る。		
			概要	植栽、下刈、除伐・間伐等の必要な森林施業を実施した。		
			成果	適切な森林施業により、森林の持つ多面的・公益的機能の維持向上が図られた。		
		林政係	問題	森林整備に伴う実行財源の確保。		
			対策	①継続 安定した財源の確保と森林整備計画に基づく計画的な森林整備の実施。		
			事業費	23,353	25,724	25,243
05	町産材使用新築 住宅等支援事業	農林課	目的	町内に建築される木造住宅に対し町産木製品の使用量に応じて補助金を交付し、町産木材の利用拡大を図る。		
			概要	町産木材の使用量に応じた補助(160千円~1,200千円)。薪ストーブ嵩上げ補助(300千円)。		
			成果	一般住宅での町産木材使用により、スギ材の町内需要拡大と流通促進が図られた。		
		林業振興係	問題	補助金に頼らない町産材の需要拡大。		
			対策	①継続 事業成果の検証及び安定した財源確保を検討する。		
			事業費	21,600	27,300	10,960
06	林業成長産業化モ デル事業	農林課	目的	林業生産基盤の強化を推進するため、林業の成長産業化に向けた地域構想に基づき、目的達成のため各種プロジェクトを実施し林業振興を図る。		
			概要	目的達成のため11の重点プロジェクトを平成29年度から5か年間を実施した。		
			成果	民間事業者の高性能林業機械導入及び木材加工施設整備への補助並びに木質資源利用ボイラー導入、林業振興の拠点施設整備等により、林業成長産業化の基盤の整備が図られた。		
		林業振興係	問題	モデル事業で導入・整備した林業機械、施設等の効果的な運用及び広葉樹材の利活用の推進。		
			対策	①継続 事業成果の検証及び安定した財源確保並びに広葉樹材の利活用を重点に取組を推進する。		
			事業費	26,404	216,405	573,169
07	補助治山事業山 腹工事	農林課	目的	藤生小塩地区の家屋裏の山腹崩壊箇所の復旧を図る。		
			概要	簡易法砕工により山腹崩壊箇所の復旧を実施した。		
			成果	山腹崩壊箇所の復旧により、地域住民の生活の安全が図られた。		
		農林土木係	問題	特になし。		
			対策	①継続 特になし。		
			事業費	7,078	30,533	35,070
08	町産材消費拡大 支援事業	農林課	目的	素材生産の増加に向けた運搬支援及び地元加工の促進を図る。		
			概要	針葉樹丸太の町内製材所等への運搬経費を助成した。		
			成果	町産針葉樹丸太の町内流通が増加した。		
		林業振興係	問題	町産針葉樹丸太の町内流通は一定程度確保されている一方、広葉樹材の利活用に向けた流通体制の強化。		
			対策	①継続 針葉樹丸太のみならず、広葉樹丸太への支援を強化していく。		
			事業費	9,078	23,439	4,011

09	森林経営管理事業	農林課	目的	経営や管理が適切に行われていない森林について、適切な経営や管理の確保をし、町が仲介役となり森林所有者と意欲と能力のある林業経営者をつなぎ適正な森林管理を図る。			
			概要	伐期を迎える私有林人工林所有者へ森林管理の意向を確認し、森林の適正な管理を進めた。			
			成果	森林所有者への意向調査の実施及び私有林人工林の整備、木材の普及啓発や利用促進が図られた。			
		林政係	問題	私有林人工林における所有者の森林整備に対する意欲の低下。			
			対策	①継続	意向調査を進め、森林整備への支援を強化していく。		
			事業費	18,481	39,307	36,898	50,805
			事業費				
10			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			事業費				
11			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			事業費				
12			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			事業費				
13			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			事業費				
事業費の合計(千円)			157,399	412,300	766,973	216,132	